

家庭科部会活動紹介

菊地 英明

1. 部会の構成と主な活動

家庭科部会は、日本教育大学協会規約第2条による大学・学部の附属学校に所属する家庭科担当教員で構成されている。また、部会員は家庭科部門にも所属しており、大学教員とも連携を図っている。

主な活動は、例年 8 月に開催されている全国家庭科部門大会と同日に行われる全国家庭科部会である。コロナ禍前は家庭科部門の全国大会を担当している地区ブロックが設定した会場で対面開催で行われていたが、2020 年の中止を経て、2021 年よりオンライン開催となった。参加した附属学校教員による実践報告や情報交換を行っている。

2. 令和 7 年度の活動

令和 7 年度は、8 月 21 日に東海地区が担当となりオンラインにて開催された。対面開催時の「休憩時間や会の終了後にも様々な情報交換ができる」というメリットは失われてしまったが、オンライン開催となったことで遠方からも参加しやすい環境となったこともあり、対面開催の時よりも多くの附属学校教員が参加している。

オンライン開催となってからは依頼や希望により研究発表や実践報告を行った年度もあったが、今年度はチャット機能を活用した方法がとられた。司会者からの質問に全員がチャットで入力をすることにより、より多くの実践について共有し合うことができた。また、資料を添付して説明をしたり、質問をしあったりする場面もあり、有意義な会となった。

例年、参加した教員からは、他附属との情報交換の場がなかなかないため、今後もこのような会に積極的に参加したいとの声が多く寄せられる。また、各附属学校全てに家庭科が専門の教員がいるというわけではない現状で、このような附属学校の教員が集まる機会というのは重要だ、との意見もあった。

家庭科部会の開催にあたっては、大学の先生方にご協力をいただき、以前より家庭科部門大会の案内の発送に合わせて家庭科部会の案内の発送をお願いしている。これにより、オンライン開催となったことも相まって家庭科部会への参加者が増加傾向にある。一方、特に自治体との人事交流を行っている附属学校の家庭科担当教員の中には、家庭科部門や家庭科部会の存在や活動について知る機会がない教員もいることが指摘されている。今後も大学の先生方から附属学校教員への参加の呼びかけについて、ご協力いただきたい。

来年度は北陸地区が担当となり全国家庭科部門大会が行われ、その日程の中で家庭科部会も行われる予定である。今年度以上に多くの先生方にご参加いただき、さらなる有意義な会としたい。

(令和 7 年度家庭科部会副代表・東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭)